

1 単元名 思いを一つにグループで話し合おう ～○小ラストイヤープロジェクトに向けて～

2 単元の目標

○思考に関わる語句の量を増し、話し合いで活用している。(知識及び技能(1)オ)

○グループの意見を一つにまとめるために、よりよい進め方を考えながら話し合することができる。

(思考力・判断力・表現力等 Aオ)

○意見を一つにまとめる「○小6年話し合い虎の巻」をつくるために、話し合いのポイントに気を付けながらグループで意見を伝え合っている。(学びに向かう力・人間性等)

3 評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
・思考に関わる語句の量を増やし、話し合いを進めていく中で活用しようとしている。	・よりみんなが納得できる話し合いの進め方を考えながら、グループの意見が一つにまとめられるように話し合いを進めている。	・意見を一つにまとめる「話し合い虎の巻」をつくるために、毎回の話し合いを振り返り、グループで意見を伝え合おうとしている。

4 単元について

(1) 本単元で身に付けさせたい力

本単元では、新学習指導要領「A 話すこと・聞くこと」の(1)指導事項「話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有 お互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。」に関する力を育てることをねらいとしている。

「○小6年話し合い虎の巻をつくる。」という言語活動を通して、少人数のグループで、互いの意見を伝え合い、聞き合いながら、全員が納得した状態で、一つの意見にまとめる力を付けられるようにしたい。

学習指導要領新旧対応表

	現行(平成20年告示・道徳改訂反映後)	改訂(平成29年告示)
A 話す能力 ・聞く能力	(1)オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。	(1)オ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

(2) 本単元における言語活動について

本単元のゴールとして、「○小6年話し合い虎の巻をつくる。」という言語活動を設定した。本学級の児童は、日常の様々な場面で話し合いを経験してきている。例えば、学級目標を決めるためにみんなで話し合いをしたり、学級活動の時間にクラス会議を行って、クラスをよりよくするための活動について話し合ったりしている。しかし、クラスの児童全員がきちんと話し合いに参加し、円滑に話し合いを進めることができているかと言うとそうではない。その大きな要因の一つに、意見を一つにまとめていく力が足りないということが言える。良い意見は多く出ても、結局多数決になってしまったり、言いたいことを伝え切れず、納得できないまま話し

いが終了してしまったりすることが多い。この原因は、話し合いのあるべき理想の姿が子どもたちの頭の中になからではないだろうか。そこで本単元では、よりよい話し合いの仕方について「〇小6年話し合い虎の巻」をつくることで自分たちの力で課題をもちながら考えられるようにする。「〇小6年話し合い虎の巻」とは、子どもたちでつくる、よりよい話し合いを進めていくための決まりである。まず悪い手本となる話し合いの様子を文字起こししたものと、教科書の話し合いの進め方を比べて見られるようにする。そこから課題を見つけ、よりよい話し合いに必要な要素について考える。そういった手順を踏むことで、よりよい話し合いの仕方について自分たちで考えることができ、意見を一つにまとめるための助けとなるのではないかと考える。また、教科書の話し合いの様子を文字起こししたのものの中には、話し合いのポイントが記載されている。そのポイントを伏せた状態のものを児童に配り、教科書に記載されているような内容が児童の言葉となって虎の巻となるようにしたい。

本校は、今年度をもって閉校、〇〇小学校との統合が決まっている。「〇小ラストイヤープロジェクト」とは、〇小最後の一年で、6年生が中心となって、母校に感謝の思いを返せることができないかを考えて実行していくものである。最後の卒業生である本学級の子どもたちは、学校が大好きで、愛情はとても深い。ここまで育ててきてくれた母校に、感謝の思いを伝えられる企画を実行していくというテーマで話し合えば、より意欲をもって学習に取り組むことができるのではないかと考え、話し合い活動の最終的なテーマとして設定した。

また、意見を一つにまとめる話し合いの進め方をきちんと理解するには、児童が自分たちの考えを目に見える形で共有していくが必要になる。それを実感するための手立てとして、「ピラミッドチャート」という思考ツールを使う。「ピラミッドチャート」とは文字通り、ピラミッドの形をした意見を共有し、深化させていくためのツールである。底辺の部分にとにかくやりたいことを並べていき、そこから実現可能なものを議論しながら頂点に向かって意見を上げていく手法である。こういった思考ツールを活用することで、「意見を広げて、絞っていく」「利点、問題点を考える」といった、意見をまとめる話し合いの進め方について、より実感しながら理解することができると思う。

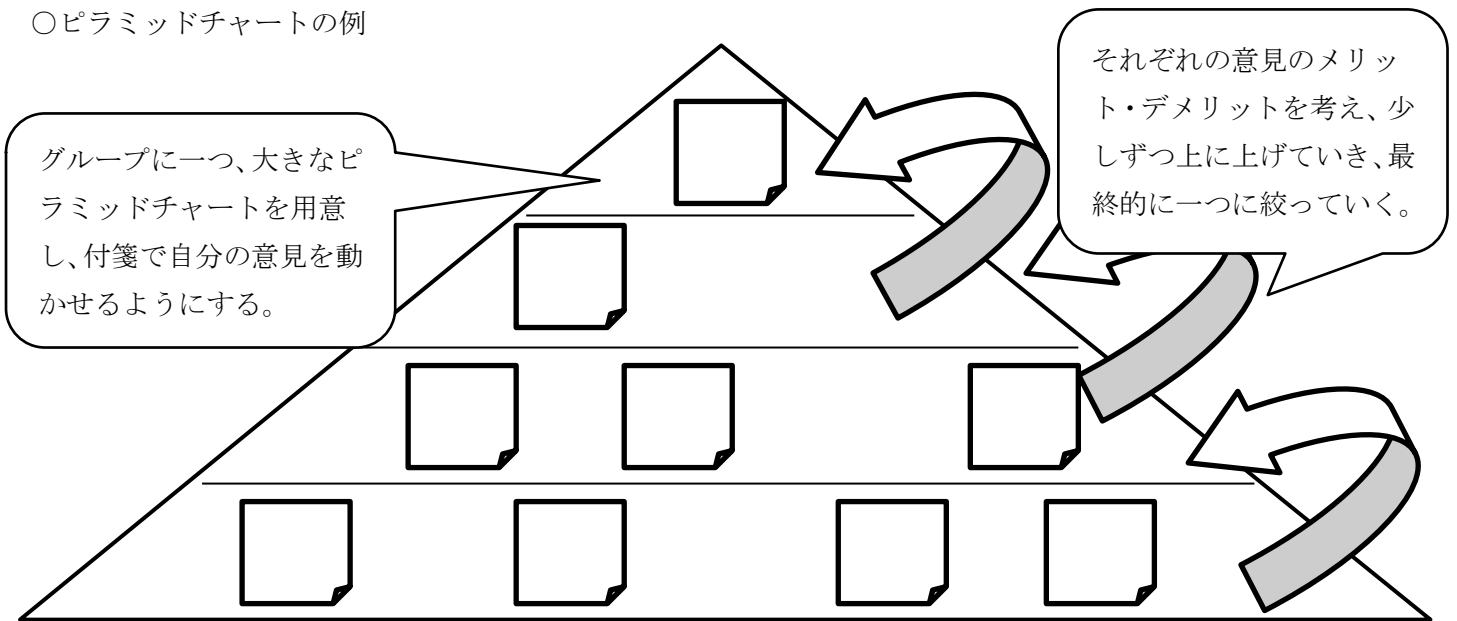
今回、少人数（三人）のグループで話し合いを進めていく上で、全員が納得するという一つのポイントにしたい。その第一段階として、全員が自分の意見を伝えるということが必要になるだろう。そのために、グループは現段階での話し合いの能力に応じて編成を行う。一回目の話し合いは同じぐらいの能力の児童でグループを組み、全員が発言をしやすくする。二回目の話し合いでは、異なる能力の児童でグループを編成していくことで、一回目の話し合いよりもさらに内容を深めることができると考える。そうすることで、全員が意見を伝え合い、納得する結論を導くための手だてとしていきたい。

本単元では、「〇小ラストイヤープロジェクト」を成功させるために、「〇小6年話し合い虎の巻」を作り、活用していくことを大きな目的としている。そのため最終的には、国語の学習で学んだことを、総合的な学習の時間に活かせるような単元計画を立てた。初めに総合的な学習の時間において、「〇小ラストイヤープロジェクト」を計画し、実行していく学習の見通しをもてるようにする。次に、その企画をよりよいものにしていくためには話し合う力を付けていく必要があるという課題意識をもって、国語の学習に臨むことができるようにする。その過程で、例を見比べたり、ピラミッドチャートを活用した話し合いの経験を重ねていたりする中で、「〇小6年話し合い虎の巻」を作っていく。最後に、作った虎の巻を活用して、プロジェクトの企画、実行を行っていくという単元構成にした。そうすることで、より強い目的感をもって話し合い活動を進めることができると考えた。

○「○小6年話し合い虎の巻」のイメージ図

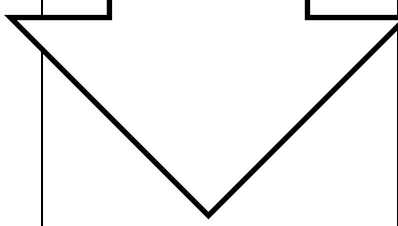
<p style="text-align: center;">話す</p>	<p style="text-align: center;">聞く</p>	<p style="text-align: center;">全体</p>	<p style="text-align: center;">○小六年 話し合い虎の巻</p>
<p>一、異なる意見を言うときは、友だちの意見を尊重した上で伝えよう</p> <p>一、話し合いの目的に合わせた意見・質問を出そう</p>	<p>一、それぞれの意見の良いところ・悪いところを考えて聞こう</p> <p>一、自分の考えと友だちの考えの同じところ・ちがうところを見つけよう</p>	<p>一、「何のために」話し合うのかを大切にしよう</p>	

○ピラミッドチャートの例



6 指導計画（全4時間） ※総合的な学習の時間との関連を含む。

○総合的な学習の時間				
<ul style="list-style-type: none"> ・数十年前の○小の様子と、今の様子を見比べて、同じところ、違うところを見付ける。 ・ここまでの○年の歴史を振り返り、自分たちがどのように卒業していくか考えるという学習の見通しをもつ。 ・○小最後の年に、学校のために自分たちで何か企画して実行できないか考える。 				
次	時間	主な学習活動と内容	指導や支援の手立て (◇は評価)	総合的な学習の時間 との関連
第一次	1	<p>○「○小ラストイヤープロジェクト」をよりよい企画にするために、「○小6年話合い虎の巻」をつくるという学習の見通しをもつ。</p> <p>○教師の話合いの進め方（悪い例）と教科書の話合いの進め方を見比べて、意見を一つにまとめるための話合いとはどのようなものか考える。</p> <p>○「○小6年話合い虎の巻第一弾」を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本単元のゴール、単元の先の大きなゴールがわかるように計画表を作成し、掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい話合いの進め方に気付けるように、悪い例は、教科書のポイントと照らし合わせながら作成したものを全員分用意しておく。 <p>◇思考に関わる語句に着目し、自分たちの話合いの際に活用しようとしている。(知識及び技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が活用しやすいように、できるだけ児童の言葉を使って虎の巻にまとめていく。 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">○小○十年の歴史を調べ、自分たちが通う小学校が どのようなにつくられてきたのかを考える</p>
第二次	2	<p>○「○小6年話合い虎の巻第一弾」を使って、「ロング昼休みに行う1年生と一緒に楽しめる遊び」というテーマについて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を一つにまとめるという目的を達成できるように、話やすく実行しやすいテーマで話合いを行うようにする。 ・常に話合いの進め方を意識できるように、「○小6年話合い虎の巻第一弾」を児童一人一人の手元に置き、いつでも確認できるようにする。 <p>◇「○小6年話合い虎の巻」をつくるために、話合いのポイントに気を付けながらグループで意見を伝え合っている。 (学びに向かう力・人間性等)</p>	

		<p>○自分たちの話し合いを振り返り、上手くいったこと、上手くいかなかったことと、その理由について考える。</p>	<p>・自分たちの話し合いをより細かく振り返ることができるように、「○小6年話し合い虎の巻第一弾」のそれぞれの項目について振り返るよう声をかける。</p>	<p>北小最後の年にどのようなことをしたいか考える</p> 
3 本 時	<p>○前時と同じテーマで、ピラミッドチャートを活用しながら話し合う。</p> <p>○ピラミッドチャートを活用することで気付いた話し合いのよりよい進め方をもとに、「○小6年話し合い虎の巻第二弾」を作る。</p>	<p>・意見を一つにまとめるための話し合いの進め方を考えられるように、ピラミッドチャートを活用できるようにする。</p> <p>・様々な意見を交流できるように、前時とは異なるグループ編成で話し合いを行うようにする。</p> <p>・常に話し合いの進め方を意識できるように、「○小6年話し合い虎の巻第一弾」を児童一人一人の手元に置き、いつでも確認できるようにする。</p> <p>◇意見を一つにまとめるための話し合いの方法について考えながら話し合いを進めている。 (思考力・判断力・表現力等)</p>		
第 三 次	4	<p>○今までの話し合いで出たポイントをもとに、「○小6年話し合い虎の巻決定版」を作成する。</p> <p>○意見を一つにまとめるための話し合いの進め方、この学習を通して身に付いた話し合いの力について振り返る。</p>	<p>・よりわかりやすく虎の巻をまとめることができるように、今までの話し合いから出たポイントを、児童の言葉でまとめていけるように声をかける。</p>	
<p>○総合的な学習の時間</p> <p>・国語の学習で作成した「○小6年話し合い虎の巻」を活用して、「○小ラストイヤープロジェクト」について話し合う。</p>				

7 本時の目標と展開

(1) 本時の目標

- ・意見を一つにまとめるための進め方を考えながら、グループで話し合えることができる。

(思考力・判断力・表現力等 Aオ)

(2) 展開 ※なおT2は特別支援学級児童の指導・支援を行うものとする。

学習活動と内容	指導や支援の手立て（◇は評価）
<p>1 前時の話し合いを振り返り、本時ではどのようなことに気を付けて話し合いを進めていけば良いか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>グループの意見を一つにまとめる話し合いの進め方を考えよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの話し合いにおける課題をとらえられるように、「○小虎の巻第一弾」や前回の話し合いの振り返り
<p>2 考えを共有していくために「ピラミッドチャート」を使うことを理解する。</p> <p>3 自分の考えを持ち寄り、話し合いを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕はおにごっこが面白いと思う。理由はルールが簡単で、1年生にもわかりやすいから。 ・おにごっこもいいね。おにごっこをロング昼休みでやると飽きてしまうと思うから、ルールを変えたおにごっこもしたいな。 ・ドッジボールはどう？やわらかいボールでやれば1年生も楽しめると思うよ。 ・ハンカチ落としや伝言ゲームもしたいな。 ・じゃあここからそれぞれの遊びができるかどうか考えていこう。 ・ドッジボールは難しいかもしれないね。1年生と6年生じゃ力の差がありすぎるから、6年生も全力で楽しめるものがあると思うよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピラミッドチャートを使うことの良さに目をむけられるように、拡大したピラミッドチャートを黒板に貼り、使い方を簡単に説明する。 ・グループ全員で意見を共有できるように、ホワイトボードにピラミッドチャートを貼ったものを用意し、話し合いを円滑に進められるようにする。 ・話し合いの進め方を常に確認できるように、一人一人に「○小6年話し合い虎の巻第一弾」を用意しておく。 ・上手く意見がまとまらないグループには、今までの振り返りを確認するように伝える。それでもまとめることが難しい場合は、その理由を考え、話し合いに大切なポイントとしてまとめていけるようにする。 ・意見を一つにまとめるための進め方を考えながら、グループで話し合っている。 <p>(思考力・表現力・判断力等)</p>
<p>4 各グループで出した意見と、どのように意見をまとめたかを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの進め方に焦点化できるように、虎の巻に書いてあることや、ピラミッドチャートについて発表するように伝える。
<p>5 ピラミッドチャートの良さについて振り返りながら、「○小6年話し合い虎の巻第二弾」を全体で作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピラミッドチャートを使ったことで、みんなの意見を聞くことができたね。これって話し合うときに大切なことかもしれないよ。 ・たくさん出した意見から、良いところと問題点について考えることができたね。ほかの話し合いでも必要なことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虎の巻に追加したほうがよいと思うことが思い浮かばない児童には、まずピラミッドチャートの良さを考えて、ポイントに気付くことができるようにする。
<p>6 次時の確認をする。</p>	